



米国アカデミー賞公認 アジア最大級の国際短編映画祭 ショートショート フィルムフェスティバル & アジア

第二回観光映像大賞(観光庁長官賞)に 『おいしい! 広島県 THE MOVIE』が決定 特別賞にみうらじゅん&安齋肇のユニット『勝手に観光協会』

米国アカデミー賞公認、日本発・アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア(SSFF & ASIA)」は、5月30日(木)に行われたオープニングセレモニーにて第二回観光映像大賞を発表致しました。

ご当地のゆるキャラや戦隊シリーズ、ドキュメンタリーやドラマ、CM作品まで、全国各地から様々なジャンルの277作品の応募から、観光映像大賞(観光庁長官賞)に選ばれたのは、『おいしい! 広島県 THE MOVIE』。広島県観光大使の有吉弘行さんを始め、広島県にゆかりのある著名人、地域の方々など総勢約650名の出演者とスタッフが参加しています。また、観光映像大賞の特別賞として、2004年より9年かけて40の都道府県を対象として、ご当地ソングを作詞作曲したみうらじゅんさんと安齋肇さんによるユニット『勝手に観光協会』が選ばれました。

セレモニーには『おいしい! 広島県 THE MOVIE』にも出演されている広島市出身の西城秀樹さんとゆるキャラのブンカッキー、広島県商工労働局観光課長 岡崎泰充さん、「勝手に観光協会」を代表してみうらじゅんさん、安齋肇さんが登壇し、観光映像大賞には観光庁観光地域振興部観光資源課長 新垣慶太さんより観光庁長官賞が贈られ、また、特別賞受賞時は一昨年、大賞を受賞した熊本県のご当地キャラクターくまモンがプレゼンターとして登壇しました。

受賞2作品含む観光映像大賞の応募作品は特設サイトよりご覧いただけます。

**観光映像大賞(観光庁長官賞):各都道府県の観光プロモーション映像の中で、
「観光振興」という観点で最も創造性、振興性、話題性を含んだ作品に贈られる。**



『おいしい! 広島県 THE MOVIE』

広島県の観光キャンペーンのプロモーションビデオとして制作。広島県には、魅力ある豊富な観光資源を有しているのに、全国にあまり知られていないことが、実に「おいしい!」ことであり、まず広島県に注目していただくために、広島県観光大使である有吉弘行さん、秘書として杉原杏璃さん、その他、広島県にゆかりのある著名人の方々、地域の方々、県庁職員総勢約650名の出演者とスタッフが参加し、生産量日本一の広島レモンや牡蠣、おいしい三原タコなど、「おいしい!」ではなく「おいしい!」広島の魅力をも、オリジナルソングに乗せてPRした。オフィシャルHP:<http://oc-h.jp/movie/>

観光映像大賞特別賞



『勝手に観光協会』

みうらじゅん&安齋肇により1997年結成。頼まれもしないのに、勝手に各地を視察し、勝手に観光ポスターを制作し、勝手にご当地マスコットを考案し、勝手にご当地ソングを作詞・作曲・旅館録音(リョカ録)し続けている大きなお世話ユニット。2004年より9年かけて40の都道府県を対象として活動した。オフィシャルHP:<http://www.discberry.com/kanko/index.html>

観光映像大賞概要

- 主催: ショートショート実行委員会 観光映像課
- 後援: 国土交通省観光庁/全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会
- 協力: 株式会社エイチ・アイ・エス/ジャパン・フィルムコミッション
- 特設サイト:[http://www.shortshorts.org/kankou taishou/](http://www.shortshorts.org/kankou_taishou/)

<メディアからのお問い合わせ先>

株式会社サニーサイドアップ

担当: 沼尻 佳奈(ぬまじり) [080-4170-8702]・八田(はった)

TEL: 03-6894-3200 / FAX: 03-5413-3050

E-MAIL: ssff@ssu.co.jp

<一般の方からのお問い合わせ>

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア事務局

TEL: 03-5474-8844 FAX: 03-5474-8202

E-mail: press@shortshorts.org

■参加作品ロケーション分布 ※()内はその県をロケーションとした作品数

北海道(8)／青森県(4)／秋田県(1)／岩手県(2)／山形県(3)／宮城県(4)／福島県(4)／茨城県(0)／栃木県(5)
群馬県(3)／埼玉県(15)／千葉県(3)／東京都(2)／神奈川県(5)／山梨県(1)／長野県(2)／新潟県(4)／富山県(9)
石川県(6)／福井県(1)／静岡県(11)／愛知県(6)／岐阜県(10)／三重県(7)／滋賀県(3)／京都府(30)／大阪府(2)
奈良県(24)／和歌山県(2)／兵庫県(10)／鳥取県(2)／島根県(2)／岡山県(3)／広島県(6)／山口県(4)
香川県(1)／愛媛県(4)／徳島県(3)／高知県(1)／福岡県(9)／大分県(4)／熊本県(9)／佐賀県(9)／長崎県(3)
宮崎県(0)／鹿児島県(2)／沖縄県(16)／その他(12) ※ロケーションが複数県にまたがる作品

■観光映像大賞特設サイトについて

好きな映像をみんなとシェア出来る

観光映像大賞にエントリーしなくても、自分の好きな映像をYouTubeで見つけたら、全国各地のユーザーとシェアしてみましょう。ご当地面白CMから、泣けるドラマ作品まで、“あ、ここ行ってみたいな！”と思わせる観光映像をどんどんアップロードしてください。

■特設サイト：http://www.shortshorts.org/kankou_taishou/



■過去の概要／実績

観光映像大賞が映画祭内に設置されるきっかけとなったのは、ショートショート フィルムフェスティバル & アジアは、2010年から2012年の3年間に渡り、国土交通省観光庁とともに日本の観光振興を目指す映像のコンペティション、「旅ショーット！プロジェクト」です。このプロジェクトは、「旅っていいな」、「旅がしたくなった」、「日本に行きたくなるね」をキーワードに、「日本の旅」、「日本の魅力」を描写する20分以内のショートフィルムを全国から募集し、各界で活躍する審査員により優秀賞(国土交通大臣賞)1作品を選出してきました。過去の受賞作品や、特別製作作品を含む優秀作は、特設HPで無料ご覧いただけます。特設HP：<http://www.shortshorts.org/travel/ja/>



2010年度本プロジェクト審査員
忽那沙里さん、デーブ・スペクターさん



2011年度本プロジェクト審査員
セイン・カムエ氏、菊川怜さん、
中島信也氏



2012年度本プロジェクト審査員
ハービー・山口さん、たかのでてるこさん、
パトリック・ハーランさん



SSFF & ASIA2012
観光庁長官 井手恵文氏も
アワードセレモニーに登場

■ショートショート フィルムフェスティバル & アジア(SSFF & ASIA)について

米国アカデミー賞公認、日本発・アジア最大級の国際短編映画祭。新しい映像ジャンルとして「ショートフィルム」を日本に紹介するため、米国俳優協会(SAG)の会員でもある俳優の別所哲也が、創立者として1999年に東京・原宿で誕生。初年度は映画『スターウォーズ』で有名なジョージ・ルーカス監督の学生時代のショートフィルムも6作品上映し、その後も毎年応援を頂いています。2001年には「ショートショート フィルムフェスティバル(SSFF)」と名称を改め、2004年には米国アカデミー賞公認映画祭として認定されました。これにより、映画祭のグランプリ作品が、次年度のアカデミー賞短編部門のノミネート選考に入ることになり、日本からオスカー像を手にする若手が出現する可能性への架け橋ができました。

同年には当時の東京都知事、石原慎太郎氏の発案により、アジア発の新しい映像文化の発信、新進若手映像作家の育成目的からショートショート フィルムフェスティバル アジア(SSFF ASIA)を立ち上げ、現在はSSFFとSSFF ASIAという2つの映画祭が「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア(SSFF & ASIA)」として同時開催されており、アジア最大級の国際短編映画祭へと成長しています。2008年には、横浜みなとみらいにショートフィルム専門映画館、プリリア ショートショートシアターを設立。映画祭としてはこれまでに延べ27万人を動員し、日本にショートフィルムを啓蒙する役割を果たすべくその活動領域を広げています。